



10

この記事がすごい！ 毎日新聞今週のこだわり4本

2020年7月12日号

編集 / 毎日新聞社販売局D・クリエーションセンター

五輪開幕1年前企画「Moment」

19日(日)より=総合面

1年延期された東京オリンピックは7月23日が開幕1年前となります。東京都、大会組織委員会らと国際オリンピック委員会は新型コロナウイルス対策とコスト削減のため「簡素化」した大会を目指

します。しかし、世界中で感染は広がり続け、開催を危ぶむ声もあります。連載「Moment」では、不透明な状況で迎える五輪1年前のそれぞれの思惑と課題を伝えます。



コロナを越えて



夕日を浴びる国立競技場。来夏の東京オリンピック開幕の日を待っている。20年3月24日、本社ヘリから北山夏帆撮影

「京アニ放火殺人事件1年」

17日(金)=社会面、特集面

36人が死亡、33人が重軽傷を負った京都アニメーション第1スタジオでの放火殺人事件は18日で発生から1年となります。平成以降最悪の被害はどうして起きたのか。詳細なグラフィックを交えて探

ります。また、被害者の遺族や友人たちの思い、消防や警察などによる再発防止や被害者支援の取り組みと課題、事件後もアニメ制作を続ける京アニの姿をお伝えします。



解体された京都アニメーション第1スタジオの跡地。=京都市伏見区で20年4月28日

特集 ワイド

人生の最期を迎えるための準備をする終活ブームが続く中、「終活なんて死んだ後で十分」と待ったをかけるのが、医師で作家の常木蓬生(はつきぎ・ほうせい)さん(73) 写真です。代わ

りに提唱しているのは、「不健康期間」を短くし、老いてなお積極的に活動する「老活」の勧めです。「100歳現役」を目指す常木さんに、今すぐ始められる老活の心得を教えてくださいました。

作家・精神科医の常木蓬生さんに聞く

「老活のススメ」

14日(火) 夕刊特集ワイド

人生100年クラブ「ボウリングしたい」

19日(日)=くらしナビ面

1970年代に一大ブームとなったボウリングにいま、人気に戻ってきています。その中心となっているのはシニア世代。今回の人生100年クラブのテーマは「ボウリングしたい」で

す。30年前のブームの火付け役となった日本プロボウリング協会名誉会長の中山律子さん(77)に、何歳になってもボウリングを楽しむコツを聞きました。



新型コロナウイルスの影響でテレビ各局では過去の名作ドラマが数多く再放送されていきました。映像と音楽には過去の記憶を呼び起こす効果があります。再放送を見るときは、自分自身や社会情勢のことが自然と思いついてきました。同様に新聞も未来に形が残るコンテンツです。将来、今の世の中を思い出すツールの一つとして、お気に入りの紙面をお手元に取り置いてみてはいかがでしょう。(中本慎二)

